

絵描き井上ヤスミチの ムダなもの すきでして...^⑧

2016年の秋からごみっと・SUNの表紙イラストを描かせていただいている井上ヤスミチです。

エッセイのようなものを書いてみないかとの誘いをいただき、絵筆じゃない文章の筆をとることになりました。ごみ問題のことはわからないので、一見ムダに思えることにも有用なものがあるよなあというぼんやりしたくくりで書いております。

ほろ酔い工作スナック～道～を開催して

この3年の間に僕は毎週2回工作教室で子どもたちに工作を教えるようになり、イラストレーターと工作の先生を半々でやっているような業態になりました。そんな中で去年秋に、ある大手電機メーカーさんの社員研修で大人が無心に工作する内容ができないかという打診をいただき、20人弱の課長さんが集まって3m四方の大きな画用紙を囲み、そこに動植物や建物や道を作って全員で一つの動物園を表現するというものを企画して3度ほど実施しました。

これまでほとんど子ども向けの工作ばかりやってきたのですが、なるほど大人には大人の需要があるものだなと手応えを感じ、ちょうど僕がアトリエを借りているくすのき荘という面白いスペースをより多くの人に紹介するためのオープン週間に向けてなにかできないかと考えていたタイミングで、大人がお酒を飲みながら工作をする企画を思いつきました。

名前が「お酒を飲みながら工作する会」だとちょっと地味だったので、「ほろ酔い工作スナック～道～」として、僕がみち子ママに扮し、BGMに切ない昭和歌謡を流しながら、その場に用意した様々な材料から好きなものを選んで自由に工作をするという形に。1時間ごとと席料1000円をいただき、材料費は席料に含め、ドリンクはくすのき荘の入り口の喫茶で注文していただく。ほろ酔いという名前になっていますが、ノンアルコールドリンクももちろん可能です。

実験的な開催で、告知はほとんどSNSのみ。チラシも簡素なコンビニコピーのものが一週間前にできたような状況でしたが、おかげさまでたくさんのお客さんに来ていただけて盛況でした。僕は普段イベント等で子どもたちの顔にフェイスペイントをするので、当日はフェイスペイント用の絵の具を使って自分の坊主頭にママっぽい髪型を描き、肌と同じ色の絵の具を調合して眉毛を塗りつぶしおでこにキレキレの新たな眉毛を描き、まぶたにまつげを描き、化粧品ではなく絵の具でママの顔を作りました。言うなればこのメイクも工作スナックの工作の一環です。近所のリサイクルショップで奇跡的に僕の太った体型でも入るキラキラ



みち子ママ。髪の毛は黒い絵具で描きました。



急ごしらえのスナック道のチラシ

のワンピースを見つけたので1000円で購入しママの衣装も完成。その経過をSNSにアップしていたことで、関心を持って来てくれたお客さんも多かった。

ママはいますが、工作を手取り足取り教えるというよりはお客さんに自由に作ってもらう形式で、困っているかたへの少々の助言とか道具の使いかたの説明くらいしかしません。スナックと言っているけどもカラオケがあるわけでもなく、実態は工作の会です。僕自身がスナックにほとんど行ったことがないのに、スナックという要素をくっつける必要があるのかという悩みもあったのですが、スナックというていにして企画にパンチがきいて、足を運んでくれた人が多かったようなので、スナックは結果的に必要な要素だったなと感じています。

時間延長してじっくり制作していく人も多く、くすのき荘に初めて来たという人も多く、くすのき荘の雰囲気にもマッチした「作るエネルギー」に満ちた時間が過ぎていき、一見おバカに見えるけどもなかなか素敵な時間になりました。大人になってからは、わざわざ時間を設けて工作に没頭することってあまりないですもんね。一夜限りの工作スナックは、今後も半年に一度くらいのペースで、次回は5月か6月あたりに開店したいと思っています。

コロナの日々が徐々に終わりに近づき、人が集える状況がだんだんと戻ってきました。対面には、画面越しでは味わえない喜びや感動、味わい深さがあります。2023年はそういったことを取り戻す年になれば良いなと思います。